

令和4年度みやぎ型オープンイノベーション推進事業
プロジェクト創出研究会助成金交付申請書

令和〇〇年〇月〇〇日申請

公益財団法人みやぎ産業振興機構 理事長 殿

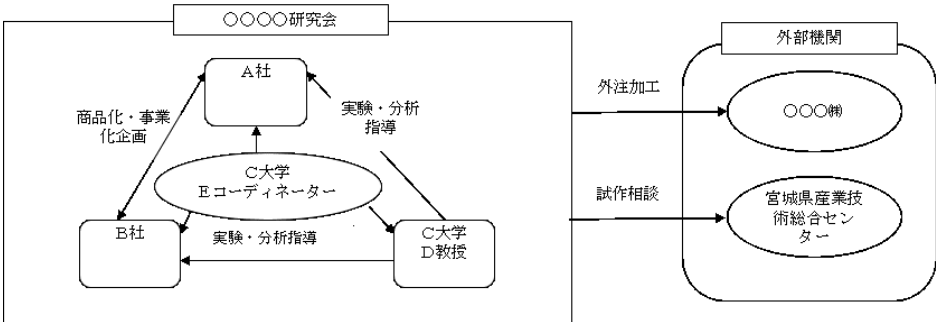
(代表企業)

〒 -
住 所：
企業名：
代表者：

印

テーマ	〇〇〇〇を用いた〇〇〇〇〇への応用			
研究会等の名称	〇〇〇〇〇〇〇〇研究会			
代表者	住 所	〒		
	氏 名			
	所属機関, 役職等			
	連絡先	電 話	※代表者：県内中小企業	
		FAX	※経理担当者：県内中小企業	
		e-mail		
経理担当者	氏 名			
	所属機関, 役職等			
	連絡先	電 話		
		FAX		
e-mail				
参加メンバー (代表者除く)	機関名・企業名	住 所	役 職	氏 名
	(株) 〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	代表取締役	〇〇 〇〇
	(株) 〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	技術部長	〇〇 〇〇

(記入例)

	〇〇〇 (株)	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇部長	〇〇 〇〇
	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇	教授 コーディネーター	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
<p>研究活動の 目的, 目標等</p>	<p>(1) 背景・現状 現在, . . . を巡る技術は となっているが, が 課題となっている。 </p> <p>(2) 目的 本研究会は, をテーマに, まずは を目的とし て実施するものである。 また</p> <p>(3) 目標 に合わせた を試作する。 ・最終的には, ○年後を目途に, の製品化を実現するこ とを目標とする。</p> <p>(4) 実施体制 例</p>  <p>(5) 活動内容</p>			

(記入例)

	<p>①・・・・・・・・・・・・・を行う。</p> <p>②・・・・・・・・・・・・・を行う。</p> <p>③・・・・・・・・・・・・・を行う。</p> <p>※以下項目について、検討いただき、記載いただくと良いと思います。</p> <p>【事業化達成】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化までの目標やビジョンを記載してください。 ・事業化への技術的な課題を明確にいただき、どのようにその課題を解決するのかを記載してください。 <p>【新規性】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品・商品、あるいはサービスの新規性や独創性を記載してください。 ・類似の既存製品がある場合には、本開発品・サービスの優位性を記載してください。 <p>【実施体制】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの構成や役割分担を図にいただくと分かりやすいと思います。
<p>活動のスケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和〇〇年〇月 第1回全体会議（キックオフ） ・ 〃 〇月 試作品製作準備，物品購入 ・ 〃 〇月 試作品完成 ・ 〃 〇月 第2回全体会議（進捗報告、協議） ・ 〃 〇月 先進事例視察（株）〇〇訪問（〇〇市） ・ 〃 〇月 分析・検証（1回目） ・ 〃 〇月 第3回全体会議（進捗報告、協議） ・ 〃 〇月 試作品改良（バージョンアップ） ・令和〇〇年〇月 分析・検証（2回目） ・ 〃 〇月 第4回全体会議（進捗報告、協議） ・ 〃 3月 成果報告
<p>本テーマに係る技術・商品・サービスの新規性ならびに市場性、地域貢献度</p>	<p>[新規性]</p> <p>現在，市場に出ている既存製品は、・・・・の規模であり、世界シェアの・・・%を占める。これを本研究会により・・・・にすると、・・・・の機能が向上する。また、・・・・については製品化されておらず、これが実用化されると・・・・の点から、新規性のある商品として話題を呼ぶものと考えます。</p>

(記入例)

	<p>[市場性] 本研究会のテーマが実用化されると、・・・年後には・・・, さらに・・・年後には・・・の規模となることが見込まれ、将来的に魅力のある市場といえる。</p> <p>[地域貢献度] 本製品が商品化された場合、・・・を製造する工場やサービス事業所において〇〇〇人程度の地域の雇用が見込まれ、また売上に対する納税額等の地域貢献が考えられる。</p> <p>※製品・商品、あるいはサービスの市場性、将来性、成長性を記載してください。</p> <p>※公的機関、民間調査機関、業界団体、大手企業等でのまとめた市場調査や市場予測の結果を基に、文言記載・グラフ等挿入いただくとより良い内容になると思います。</p>
--	---

支出明細

補助を必要とする活動費	総事業額(税込)	1,100,000円	積算明細
	うち申請金額(税込)	800,000円	
	経費項目・内訳	金額	
① 技術相談料	55,000円	研究内容相談(○研究所××氏) @11,000円×5回=55,000円	
② 機械装置等購入費	550,000円	温度槽 @550,000円×1台=550,000円	
③ 工具・器具代	22,000円	ドライバー @550円×4本=2,200円 大型試験管 @3,300円×6本=19,800円	
④ 材料・消耗品費	154,000円	ステンレス板 @11,000円×8枚=88,000円 洗浄液 @22,000円×3本=66,000円	
⑤ 分析費・検査料	55,000円	耐薬品試験(△△大学) @11,000円×5回=55,000円	
⑥ 外注加工費	132,000円	ステンレス板切断加工 @33,000円×4枚=132,000円	
⑦ 先進事例視察・調査旅費	33,000円	㈱○●工業視察(○○県) @16,500円×2名=33,000円	

(記入例)

	⑧ 外部講師に対する 謝金及び旅費	33,000 円	実験指導 (○×大学◇◇氏) @11,000 円×3 回=33,000 円
	⑨ 借料・損料	55,000 円	会議室借料 (×○ビル) @5,500 円×5 回=27,500 円 実験室借料 (○研究所) @5,500 円×5 回=27,500 円
	⑩ その他の経費	11,000 円	振込手数料、宅急便代